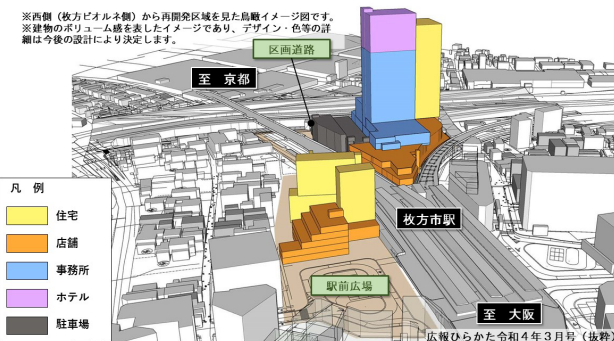


01 枚方市駅周辺再整備について、③街区イメージパースが公表されました



令和6年度の完成を目指し建築工事を進めている③街区複合施設の完成イメージパースが、枚方市駅周辺地区市街地再開発組合より公表されました。駅東側の複合施設は、主に商業施設・オフィス・ホテルが入る高層ビルが建設される予定です。枚方市役所の窓口機能についても、一部が枚方市駅と一体のこの施設に設置される予定です。枚方市駅周辺再整備については、現在市役所がある④街区や、府民センターのある⑤街区のまちづくりについて、今後の議会で議論される予定です。この街づくり計画について、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

枚方市議会議員

市政報告 Vol.08

門川ひろゆき

魅力を感じるまち・選んでもらえるまち枚方をつくる
～枚方市の成長を確かなものにし、持続的発展が可能なまち「枚方」を目指します～

編集・発行 門川 紘幸 / 令和4年8月発行 / 枚方市中宮山戸町14-50 / 070-3280-2655



02 市立小中学校の体育館にエアコンが設置されます

令和6年度までに市立小中学校62校の体育館にエアコンが整備されます。近年の猛暑による部活動や教育活動時の熱中症を防ぐため、また災害時の避難所としても利用される体育館の環境整備として、令和5年度に中学校、令和6年度に小学校へエアコン設置がされていく予定です。

事業名：枚方市小中学校体育館空調設備整備DBO事業

DBO方式とは

設計 (Design)、建設 (Build)、運営 (Operate)

民間事業者が設計、建設、運営を一括で委ね、設備の所有、資金の調達については公共側が行う予定です。



03 ～子育て、教育の充実した枚方市へ向けて～

今回枚方市は小中学校のエアコン整備に取り掛かることが決定しました。これは、教育環境の充実として他市に先駆けた施策です。一方で、前回の市政報告でもご紹介しましたが、中学校の全員給食や、18歳までの子ども医療費助成についても、子育てに力を入れるまちにとっては必要な施策と考えます。これからも実現に向けて取り組みます！

▼2022年3月現在の大阪府下(中核市規模以上) 中学給食全員喫食の動きについて

政令指定都市	大阪市 堺市	現在全員喫食制 全員喫食への移行を決定
中核市	東大阪市 豊中市 枚方市 吹田市 高槻市 八尾市 寝屋川市	現在全員喫食制 令和4年度中に全員喫食実施 検討中 検討中 現在全員喫食制 未定 現在全員喫食制

大阪維新の会枚方市議会議員団から要望書を提出しました!!

7月25日

支援教室の在り方についての要望書を提出

4月27日付で文部科学省から発出された「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について」の通知を受けての教育委員会の一連の対応は、支援教育の大きな運用変更にも関わらず、学校や保護者等に対して内容が不十分な文書を配布し、現場や保護者、そして当事者である子どもたちに不安を与え、大きな混乱を招きました。今後の進め方について、

- 学校現場や保護者への十分な情報提供と、丁寧な説明を行うこと、
 - 急激な教育環境の変化による子どもたちや保護者への負担を考慮して、個別の教育的ニーズや思いを踏まえた適切な対応を行うこと
- など、今後の支援教育について、10項目に要望をまとめ、提出しました。→ 柔軟な進め方が求められていることから、現状のままでは来年度から新たな運用に移行するのは難しいと考えます。

5月

「コロナ禍における原油価格・物価高騰対策についての緊急要望書」を提出

- ① 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」給付対象の低所得世帯へ、市独自で給付額を上乗せして支給。また、すべての子育て世帯を支援するため、対象世帯以外の世帯に対しても、市独自の上乗せ額を給付。
- ② 学校給食のこれまで通りの栄養バランスや量を保った給食の実施と、給食費の保護者負担が増加することのないよう要望。また、保育園の副食費は、一定期間、徴収免除の対象範囲を拡大し、すべての児童に対して徴収を免除。
- ③ 幼稚園、認定こども園等の施設における送迎車ガソリン代等の燃料費の負担軽減のため、事業者への燃料費の支援。
- ④ 家庭及び事業所の固定費を軽減するため、一定期間、水道料金の基本料金の減免。

決定 水道料金を4か月間減免が決定しました! (基本料金と1か月あたり使用水量最大8m³までの従量料金)

その他、枚方市独自の施策として、市民税均等割りのみ課税世帯への給付金、小中学校給食の原材料費高騰分支援、地域公共事業者に対する燃料費高騰支援、福祉施設等に対する光熱費支援などが、決定しました!

4月

「ため池のさらなる安全対策を求める緊急要望書」を提出

市の迅速な対応により、要望項目のひとつであった「枚方市ため池管理マニュアルの改訂」が行われ、今回、新たに「安全管理施設」の項目が追加されました。



— 発行者プロフィール —



門川ひろゆき

経歴

1983年生まれ。きよし幼稚園、中宮小学校、中宮中学校、四條畷高等学校卒業。維新政治塾第4期最優秀塾生。日本大学法学部。

現在

- 枚方市議会議員(2019年5月より)
- 大阪維新の会 枚方市議会議員団
- 市民福祉常任委員会委員
- 枚方市都市計画審議会委員
- 民生委員推薦会委員
- 一般社団法人枚方青年会議所理事

ご意見お待ちしております

駅での活動、地域活動などでお会いした際は市政への率直なご意見をぜひお寄せください!



070-3280-2655

info.kadokawahiroyuki@gmail.com

https://h-kadokawa.jp/

公式SNSも運用中!



WEBサイト Instagram

住所

〒573-8666

枚方市大垣内町2-1-20

枚方市役所4階 大阪維新の会枚方市議会議員団

これからも
市民のみなさまのご意見を
市政に届けてまいります!!



一般質問

「子育て」を枚方のブランドに!

今後の保育需要とその対策について

門川 質問 令和4年度は、年度当初で4年ぶりの国定義での待機児童が発生した。保育所の定員は増え、入所児童数は減っているが、希望する施設を利用できていない児童数が増えている。今後の待機児童対策と、市長が目指す通年の待機児童ゼロに向けての取組みは。

回答 国定義の待機児童が発生したエリアを中心に、既存の施設やスペースの活用等、公私問わずあらゆる手法で対策について協議、調整を行っている。また、蹠陀西臨時保育室やこの秋開設予定の渚西臨時保育室、市内14か所で展開している就労応援型預かり保育の活用に加え、都市整備部等からも情報を収集し、市内バランスよく保育資源を提供できるよう対策を行っていく。

門川 質問 第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画では令和5年度を保育需要のピークとしていたが、「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」の後期プラン(案)において、保育需要は見通しが立たないとされている。第2期計画の中間年度である今年度、保育需要について中間見直しの予定は。

回答 令和2年度から推計値との乖離幅が広がってきており、国から示された見直しの考え方に沿って今年度中に中間見直しを行う予定。一方で、推計値との乖離は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている可能性が高く、数値の補正に際しては、その影響を十分考慮していきたいと考えている。

要望

ここ数年、年度当初は、国定義で待機児童ゼロを達成していたが、今年度当初は、**国定義で9人の待機児童が発生し、保育需要と供給のミスマッチが起きている**とのこと。保育需要については、withコロナ、アフターコロナの状況から予測は困難な中、それでも保育需要の見通しを立てなければ、待機児童対策をどのようにとればよいのか基準がなく身動きがとれないため、なんらかの基準が必要。まずは、**国定義の待機児童が発生したという事実を真摯に受け止め、目標事業量の中間見直しをしっかりと行っていただき、効果的な対策に繋げるよう要望。**

誰もが安全で安心して暮らすことができるまちづくり

インターネットの誹謗中傷対策について

門川 質問 SNSなどの利用が広まる中、書き込みによる誹謗中傷、いじめの悪質化などの影響が問題となっている。読売新聞の調査において、2020年度以降、学校の学習端末を使いたいじめについて、主要109自治体のうち少なくとも25の自治体で47件が報告されている。大阪府では議員提案による、「大阪府インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例」がこの4月に施行されたが、これを踏まえて、市の取組みは。また、6月に市が策定する枚方市人権尊重のまちづくり基本計画では、「インターネットによる人権侵害」という項目が、人権問題の1つとして掲載されているが、その対策方法については計画の中でも別に取り扱うべきでは。

回答 インターネット上の人権侵害の防止等に関する実効性のある施策については、今年度1年を中途に検討し、今後、大阪府の動向を確認しながら、必要な連携協力を図っていく。また、インターネット上の人権侵害を含む、あらゆる人権問題に対し、6月に策定する枚方市人権尊重のまちづくり基本計画に基づき、効果的・総合的に、人権施策を推進していく。

要望

しっかりと情報を入手し、機動的な対応ができるように、専門機関とも連携するなど十分な対策を。また、インターネット上では、さまざまなコミュニティーから人間関係が形成されていく中で、いままでの社会では想定されていなかったようなトラブルに巻き込まれてしまう可能性もある。本市においても、**教育現場でのネットリテラシー啓発や相談窓口の体制強化など引き続き取り組んでいただくよう要望。**



行財政改革

公共施設マネジメントについて

門川意見

公共施設マネジメントは、今、真剣にやるかやらないかで、数年後、自治体の財政事情に大きな差が出てくるのではないかと。「**市民一人当たりの延床面積1.9㎡を維持する**」という目標や、この数値を施設総量で考えたときどれくらいの建物に相当するのかについて学校以外の施設においても職員の皆さんがどの程度認識されているのか疑問に思うところであり、**全庁的に危機感を持って、今後のかじ取りをおこなっていただきたい。**

令和4年度会計予算案について、予算特別委員会の委員として、3月15日、17日、22日、23日、25日の5日間にわたり各事業項目に対して質疑・提言を行いました。

予算特別委員会の質問内容

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| ① 防犯カメラ設置事業費について | ⑪ 成人祭(はたちのつどい)実施経費について |
| ② 市政施行75周年記念事業について | ⑫ 社会教育主催事業経費について |
| ③ 指定管理者選定委員会委員報酬について | ⑬ 学校看護師について |
| ④ 端末・ネットワーク管理事業について | ⑭ 単独調理場施設設備整備工事について |
| ⑤ 輝きプラザきららESCO事業経費について | ⑮ メンタルヘルス相談、教育相談について |
| ⑥ 地域産業振興事業について | ⑯ 留守過程児童会室の運営に要する経費について |
| ⑦ 森林環境基金積立金について | ⑰ 福祉サービス利用援助事業補助金について |
| ⑧ 総合スポーツセンター管理運営経費について | ⑱ 成年後見支援センター運営経費について |
| ⑨ 里親普及促進事業について | ⑲ 市岡岡東町自動車駐車場の管理運営に要する経費について |
| ⑩ 子ども見守りシステム運営事業について | ⑳ 家族介護支援事業経費について |
| ⑪ 枚方版こども園(幼稚園施設)での給食実施について | ㉑ 病院経営について |

誰もが安全で安心して暮らすことができるまちづくり

防犯カメラ設置事業費について

要望 今回予算化されリース契約の更新等を行う防犯カメラは、故障検知時に自動でメール通知する機能があるとのこと。早期の故障発見が速やかな復旧に繋がるというメリットを踏まえ、例えば新たに建物が見つ等が原因で撮影できる範囲が変わっていないか既設カメラの運用状況を定期的にチェックすべきと要望。

教育のまち枚方をつくる

学校看護師「パートタイム会計年度任用職員」の件費について

要望 学校看護師について、学校配置の短期任用の看護師の時給は1,500円とのことで、これを通年任用の勤務時間で月額に換算すると186,000円となり、このたびの増額によっても、通年任用の看護師の方が報酬額が低い状況であり、まだまだ、その職務内容や業務負担に応じた給与水準にあるとは思えない。小中学校に在籍する医療的ケアが必要な子どもたちが、より安心して学校に通うためにも、引き続き、学校看護師の十分な配置と、効率的・効果的な執行体制に向けて取り組んでいただきたい。

「子育て」を枚方のブランドに!

単独調理場施設設備整備工事について

要望

学校給食調理場については、枚方市 市有建築物保全計画では第Ⅱ期以降、計画からはずされてしまっており、これから大きな財源を要する計画がつづく本市において、非常に不安に感じるところ。中長期的な財源確保等も踏まえ、担当課だけではなく、財政、企画など、市全体での調整が進め、必要となる調理場改修を継続的に進めていただきたい。



「子育て」を枚方のブランドに!

幼稚園給食実施事業経費について

要望

この度の幼稚園給食事業については、既にある施設や、今いる人員を最大限に活用することで、新規事業を非常に低コストで実施されており評価できる。認定こども園について、保育所機能と幼稚園機能が備わっており、様々な保護者のニーズに応えられる施設であると考え。課題があると聞かすが、子ども達のために何が一番良いのかということを中心に、検討していただきたい。

「子育て」を枚方のブランドに!

留守家庭児童会室の運営に要する経費の件費の内、「任期付短時間職員」及び「パートタイム会計年度任用職員」の経費について

要望 教育子育て委員協議会において示された「総合型放課後事業実施プラン(案)」では、留守家庭児童会室の課題も踏まえた事業の考え方の説明があった。土曜日や三季休業期を含む子どもたちの居場所について、ニーズに応じた選択が可能となれば、「児童会室」においては、本当に保育が必要な児童が、入室できる状況が確保でき、「放課後オープンスクエア」では、自由で自主的な遊びなど、友だち同士の関わりやふれあいの中で、子どもたちの可能性が広がるような居場所となり、まさしく、保護者のニーズと子どものニーズを汲み取った必要な事業であると考え。事業実施にあたり、課題に直面している現場の意見を丁寧に聞き取り、処遇改善や業務改善など、職員の働く環境の整備にも取り組み、しっかりとした仕組みづくりを。